

2025 年 7 月 1 日

報道機関各位

news release

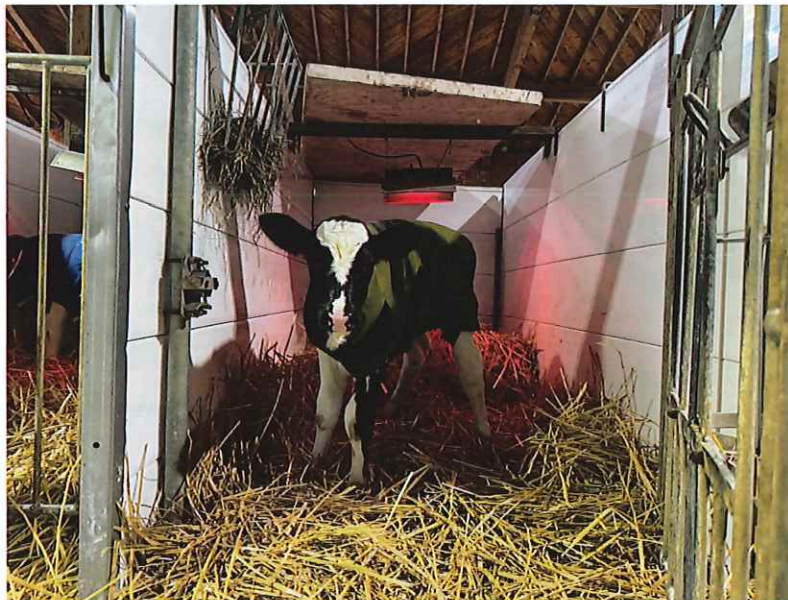


UNICOLUM CO.,LTD.
Richness of the mind and heart!

株式会社ユニコロン

北海道で使用された廃棄されるユニフォームを資源に、日本初のアップサイクルで新たなものづくり。働く人と牛さんをつなぐ服。

SUSTAINABILITY clothing brand UNI ueau⁺ 誕生！



企業向けのユニフォームの企画、製造、販売を行う株式会社ユニコロン（本社：北見市、社長：吉岡大）は、道内の企業と連携し、北海道で使用された廃棄されるユニフォームを資源に、北海道の障がい者雇用施設で牛服をつくり、北海道の酪農家に販売するという、北海道で全て完結するアップサイクルな取り組みを始めた。回収したユニフォームは株式会社鈴木商会（本社：札幌市、社長駒谷僚）の苫小牧ブラ・ファクトリーで付属品を取り除いた後に破碎され、その破碎された綿を利用して、社会福祉法人くさぶえ（伊達市、理事長：小倉拓）が裁断、縫製を行う。最終的には昨年から商品開発に携わってきたサステナブルな酪農経営を追求する株式会社カーム角山（江別市、社長：川口谷仁）などの、北海道内の酪農業へ向け出荷される。

産業廃棄物の削減、障がい者雇用の促進、環境負荷の軽減などの地域の課題を、全国の1歳未満の乳牛の約74%が北海道で飼育されているという背景も活かし、解決に繋げるのが狙い。

日本では、年間約 5900 億円もの新しいユニフォームが毎年出荷されており、そのほとんどが使用後に産業廃棄物として処理され、リサイクルされる商品も、回収後に環境負荷をかけ道外へと運ばれていく。その事実に向き合い、北海道で着用したものを資源として回収し、新たな商品として生まれ変わらせ、北海道でまた使用されるアップサイクルが必要と考え本ブランドを立ち上げた。

UNI (ユニ) はユニコロンの社名の一部で英語の「単一の」という言葉。それに、フランス語で「子牛」を表す veau (ヴォー) をつなげ「UNI veau」。環境に配慮した素材や、障がい者雇用にも寄与した地域密着のものづくりにこだわる。



UNI veau[⊕] が果たす役割



- ①産業廃棄物の削減 第 5 次循環型社会形成推進基本計画に寄与
- ②北海道内で完結するため、輸送時の CO2 排出量を削減
- ③回収コストの削減
- ④障がい者の雇用促進
- ⑤ユニフォームを使用したお客様と酪農業と共に SDGs に貢献
- ⑥子牛の命を守り、北海道の酪農に寄与

UNI veau[®] 製品紹介

働く人と牛さんをつなぐ服



オリジナルブランドタグ付

UNI veau[®] basic ￥8,800-

環境に配慮した中綿入りベーシックタイプ 重量：520g

1着につき廃棄される予定だった綿・生地が約350g入っています。



UNI veau[®] light ￥6,600- ※2026年リリース予定

中綿を使用せずに、裏地にフリースを採用したライトタイプ 重量：330g



【報道関係の方からのお問い合わせ先】

株式会社ユニコロン 札幌店

事業内容：企業向けユニフォームの企画・製造・販売

創業：昭和53年1月

所在地：札幌市北区新川西4条4丁目2番5号

電話番号：011-792-5100

ホームページ：<https://unicolum.co.jp/>

【報道関係の方からのお問い合わせ先】

広報担当：吉岡

電話番号：011-792-5100

MAIL：d.yoshioka@unicolum.co.jp

【関係先リンク】

株式会社カーム角山 <https://www.kalm.co.jp/>

株式会社鈴木商会 <https://www.suzuki-shokai.co.jp/>

社会福祉法人くさぶえ <https://kusabue.or.jp/>